



建交労

2018 年 9 月 4 日 No.1

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2018 年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

第 20 回定期大会開催、新年度方針を決定! 安倍9条改憲阻止・経済闘争・拡大を推進しよう

建交労は、9 月 1 日（土）～3 日（月）の日程で、第 20 回定期大会を開催しました。主催者あいさつを行った角田季代子中央執行委員長は、昨年の第 19 回大会後、安倍政権が日本の平和・民主主義・働く者のいのちと健康をないがしろにして、「9 条改憲の推進、働き方改革一括法の強行採決、辺野古基地建設推進」などの暴走政治を続け、さらには公的文書改ざん・データねつ造・情報隠ぺい、官僚セクハラ・忖度を擁護し、まともな反省すらしない異常極まりない姿勢を厳しく糾弾しました。一方で「3,000 万人署名の推進、建交労フェスタ」のとりくみの成果にも触れ、秋の臨時国会に向けて改憲案の提出を阻止すべく、「全国統一 3,000 万人署名」の署名推進、組織拡大、業種別部会運動による要求闘争の展開を大会参加者へ呼びかけました。来賓は、初日に「全労連・長尾ゆ



角田委員長が会場で集めた沖縄県知事選挙カンパを東江沖縄県本部委員長へ手渡しして激励しました



り副議長、日本共産党・山添拓参院議員、生公連・古澤一雄事務局次長、交運共闘・高城政利議長、建政研・浅見和彦理事長」から 2 日目には、「小池純一、水口洋介両顧問弁護士」にそれぞれ激励・連帯のあいさつをいただきました。

大会初日の廣瀬書記長による 2018 年度運動方針等の提案にもとづき、1 日目特別報告 6 人、2 日目討論 54 人（文書発言 1 人含む）「計 60 人」が発言しました。運動方針は各地の豊かなとりくみによって補強され、最終日に全ての方針を採択しました。また、2018 年～2019 年度・中央執行委員会を選出する役員選挙を実施し、立候補者全員が信任されました。その後、今年度を持って役員を退任する「緒方徹治さん、神田豊和さん、芦崎光夫さん、及川浩さん、遠藤伸さん、阪口昇治さん」が一言ずつあいさつを述べました。

最後に角田委員長の発声で団結がんばろうを三唱し大会を終え、参加者が帰路につきました。（＊定期大会の詳細については建交労雑誌版 10 月号に掲載されます。）